どこまでも正攻法
西荻塾
大学受験

# 高校２年 授業要項

1．開講講座の紹介
2．指導の特徴――指導４本柱
3．塾の指導について

## 来たるべき未来を見据えて。

高校２年生対象の授業は、学校では味わうことのできない、入試に必要不可欠な知識に焦点を当てた「点を伸ばすため」の授業です。知識と応用力の両面においてバランスよく入試へ向けた基礎体力を培うべく「筋力トレーニング」と「実戦経験」を組み合わせた指導で志望校への距離を一気に縮めていきます。

志望校がはっきりと標的に入る。それが高２クラスの至上命題です。

## 開講講座の紹介

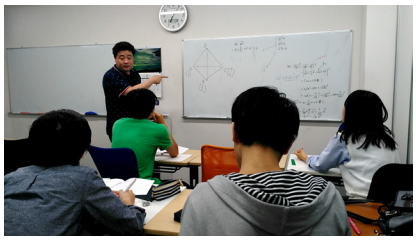
### ■ クラス授業

**指導４本柱**

- 専門性に裏打ちされた授業
- 添削結果を活用した授業
- 問答授業の活用
- 自習指導との密な連携

| | | |
|---|---|---|
| 英語<br>120 分授業 | 英語は、他教科・科目最も早く入試レベルに引き上げることのできる教科です。高１で基本知識はほぼ全て学び終えています。ですから、高２の目標は入試問題に対応できる力をつけることです。授業や自習を通して、入試傾向を踏まえた様々な問いに触れてもらい、学年の終わりには志望校の入試問題に立ち向かうことのできる学力を身につけます。 | |
| | 標準クラス | 年間を通して、英検２級で８割前後（英検４技能総合スコア 1950、2 級上位）の得点を目指します。前半は、単語・熟語・文法事項などの知識を徹底して固めつつ、基礎的な読解に慣れる作業を中心に進めます。後半は、入試形式に合わせた問題を用いて知識の整理をしつつ、300 から 500 語程度の読解問題を集中的に演習し、あわせてスピードアップを図ります。また、年間を通し、基本英作文の徹底演習を行います。 |
| | アドバンスクラス | １年間の目標は、難関大学の入試問題を取り扱えるレベルに到達することです。まず、入試レベルの文法・語法問題を扱い、知識の整理に取り組みます。並行して記述形式の問題に多く取り組み、正確に文章を解釈する力を磨きます。後半は、入試レベルの英作文と、MARCH 以上の難関私立や国公立の読解問題に取り組み、得点力を磨きます。また、年間を通して、基本英作文をベースにして、標準的なレベルの英作文を徹底して添削指導します。<br>※高２終了時点で、英検４技能総合スコア 2200（CEFR　B1 ～ B2 相当）に達することを目標としたクラス設計です。果敢に英検準１級スコアを目指す受講生を歓迎します。<br>※入塾時点でインテンシブ基準を満たす場合には、早期に英語を得点源にするため、インテンシブクラスへの入室をお勧めする場合があります（高３から志望校別にクラスを振り分けますので、高３でインテンシブクラスを選択することは義務的ではありません）。 |
| English Intensive Class<br>150 分授業 | インテンシブ | 外国語大、早稲田（国際教養）、上智（総合グローバル）など、英語を主戦場として戦うためのクラスです。徹底した総合英語力をつけるための集中講義および添削指導を行います。授業は、実際の過去問をベースに、読解、英作文・英語エッセイと語彙力を余すことなく鍛え上げる教材を用いて、豊富な合格実績に裏打ちされた西荻塾英語科のエキスパートが担当します。<br>★高３の１学期中に英検準１級取得を必須としますので、英語への意欲が重視されます。<br>★選抜基準があります。高２時点で、英検４技能総合スコア 1950 以上（CEFR　B1 ランク相当）で、これに満たない場合は、そのスコアを達成した後に入室を許可しています。<br>★【インテンシブクラス特待】インテンシブクラスに在籍される場合は、受講料が割引となります。（150 分の授業ですが、120 分の受講料となります） |

| | | |
|---|---|---|
| 数学<br>120 分授業 | ときには分野別に、ときには分野に縛られない良問演習を行います。毎回、５題程度の予習を課し、予習された答案はすべて講師が目を通し、授業の中でその添削結果を活かした臨場感あふれる授業が行われます。正確な記述力と計算力、そしてねばり強い思考力を徹底的に鍛え上げます。※ 11 月より文理別編成。 | |
| | 標準クラス | 前半は、数学 IIB を中心として、躓きの多い、関数（三角、指数対数）と図形と方程式、さらにはベクトル､数列を重点的に取り扱います。後半は微積。躓きのもとは､｢理解の甘さ｣と｢演習の不足｣。この２障壁を徹底して破壊し、新境地（数学で積極的に攻める世界）へとご案内。 |
| | アドバンスクラス | 既修分野については積極的に入試問題を利用して深い洞察力を養います。特に、数列、ベクトルについては、他の分野との連携と融合が頻出。学校や教科書では取り扱わない、味わい深い問題を準備してお待ちしています。目標は、記述模試で８割以上楽々と。厳密な記述や効率的な計算などについても随時触れます。　※それなりの予習・復習の時間を要しますので、意欲が必要です。 |
| 国語 | 高２の授業では、現代文と古典の授業は 60 分ずつ（計 120 分）で授業を行います。<br>※いずれかのみの受講も可能です。 | |
| | 現代文 | 主に記述式の入試問題を利用して、徹底して読解力と日本語の力を鍛えます（添削)。難解な文章も、テンポ良く読解し、同時に知的好奇心をくすぐる古今東西のネタを織り交ぜながら教養に深みを持たせます。１年の目標は、「およそ日本にある論説文ならわたし読める」という自信をつけること（自信をもって点が取れるように)。フィーリング読解を極限まで排し、徹底して論理的な読解力を身につけましょう。面白い。テンポいい。最高の空間を準備してお待ちしています。 |
| | 古典 | 知識としては秋までに敬語を押さえ、入試レベルの問題に入ります。古文の本格的トレーニングはここからで、数多くの問題に触れ、身につけた知識を適切に使いこなす力を養います。この中で文章の書かれた時代の背景知識なども吸収し、より正確な読解力を身につけます。記述式の問題を多く取り扱い、なんとなく、ではなくはっきり解答が見えるレベルを目指します。漢文では読解に必要な句法・句型のまとめ学習からスタートし、書き下し文に直す力を養います。また、漢字（現代文で用いられる程度）の学習に力を入れます。漢文の読解に必要な力の半分は漢字の力です。複数の意味を持つ漢字を熟語に置き換え、文脈における意味の特定ができる力の土台を作ります。 |
| 理科<br>120 分授業 | 物理<br>・<br>化学 | 主に理系志望の生徒を対象とします。独自の高２カリキュラムにより、高２のうちに固めておきたい分野のエッセンス、ひいては高３になって理科を飛躍的に得点源とするための講義です。<br>理系で勝敗を分けるのは間違いなく理科です。高２のうちから意識的に理科の学習に取り組んでおくことは入試はもちろん、理系で生きていくための基本であると信じて授業を組み立てています。原理原則に忠実に、しっかり考えて解く。高２ならではの理科の授業です。<br>※物理は、主に力学を中心とします。その他、日常学習によりしっかり物理的思考を身につけさせるための学習法の確立もテーマです。<br>※化学は、主に理論分野を中心とします。２学期以降は無機分野を中心に、毎回小テストを実施し、知識がためを並行して行います。学習法確立は物理と同じく大きな目標です。 |
| 社会<br>120 分授業 | 日本史<br>世界史 | ハッキリ言って､｢１年では間に合わない｣。本当です。早慶をはじめとした難関私大や難関国立（論述）は、１年そこらではどうしようもない。膨大な知識量に加え、演習を積まなければ点にならない。地方の進学校では３年間切れ目なく地歴の授業をやっている学校もありますが、都内ではおそらくほとんどなく、社会の準備不足が高３になって露見して苦労する受験生が多数います。<br>社会で余裕がある者は、模試の判定も良いですし、結果も強いです。<br>西荻塾では、高２から、通史＋テーマ史＋志望校別の演習（論述指導も含む）をオリジナルのカリキュラム・授業プリントで実施しています。とりわけ、西荻塾のオリジナルレジュメはそれだけで受験に戦えるシロモノです（過去 30 年分の早慶、国公立入試問題分析に基づいて濃密に作成)。<br>※文系で社会を受験科目とする生徒向けの授業です。 |



## ● レベル別クラス編成

西荻塾のクラス授業は、習熟度別にクラス分けを行っています。入塾時の学力診断、常時の受講状況、模擬試験の成績等により柔軟に編成します。

## ■ 専門性に裏打ちされた授業

### あ、なるほど、と腑に落ちるまで

西荻塾は、受験生が学習の過程で抱く知的好奇心に応えうるだけの専門性と素養を十分に身につけた講師達が待っています。「すっと腑に落ちるその瞬間まで」―いつでも、いつまでも受験生達と語り合う時間を大切にしたいと思います。

微積分やベクトルのふわっとした感じや、なんとなく読む評論文、雰囲気で読んでいた英文解釈・・・是非、教室での専門性に裏打ちされた論理的かつ明快な説明に触れていただき、目から鱗が落ちる瞬間を体験してもらいたいと思います。

解ければいい、では解けないのも事実ですし、受験勉強であっても、知的好奇心に素直になってほしいと考えています。

「わからない！」でも、「もっといいやり方がある！」でも、「この考え方の背景は？」でも、その正直な叫びを徹底して塾という場でぶつけて欲しいと思います。

## ■ 添削結果を活用した授業

### 答案に全てが現れる。答案で決まる。

試験会場でのコミュニケーション手段は、答案用紙と受験生が握った筆記具のみ。大学入試共通テストでも、記述式が導入されます。

たとえば、いわゆる「自由英作文」を課す大学。難関大とよばれる大学では当たり前となりました。しかし、これを英作文の授業で扱うとして、添削抜きにどう講義をするというのでしょうか。そして、添削結果に目を通さずして、目の前の塾生たちに効果的に授業が出来るのでしょうか。

西荻塾は、効果的な授業を行うために、実際に授業を担当する講師が授業前に直接添削を実施します。添削は、機械的なものとどまらず、記述の方法から、内容の深さに至るまで、入試で求められる記述力を添削によって徹底して鍛えます。さらに、添削後すぐに授業で活用することが前提となっていますので、提出と復習がタイムラグなくして可能です。

# 指導４本柱

## ■ 問答授業の活用

### ソクラテスメソッドによる揺り動かし

西荻塾は、ソクラテスメソッドを取り入れて授業を実施しています。

ソクラテスメソッドとは、生徒と講師で発問、発話等を頻繁にかわしながら、予め予習してきた内容を踏まえ、解答のプロセスの確認や現場思考能力を鍛えていく手法です。「無知の知」で知られるソクラテスに由来しますが、実際、塾生たちは予習である程度の解答を作ってこれても、意外に問答に窮することはしばしば。その「意外」性に実は、弱点だったり、無理解だったりが隠れていることがある。無知の知とまではいきませんが、こうした知的トレーニング（揺り動かし）こそ、ソクラテスメソッドの最大の利点です。

４本柱の２本、「添削のための答案」を素材に、「専門力」のある講師が、教室を徹底した訓練の場に変えていきます。頭をフル回転しながらも、あっという間の授業時間で鍛え上げていきます。

## ■ 自習指導との密な連携

### 自習なくして、結果は伴わず。

西荻塾では、授業のみならず、授業外の時間帯において、それぞれ一人一人の塾生の志望に合わせて、各人別の指導をさらに強化していきます。自習のやり方、科目別のエネルギーの配分、長期休暇の過ごし方、日々の時間の使い方や進路の相談、直前期何を優先すべきか・・・もろもろと、受験生の悩みに正面切ってぶつかっていく体制です。単なる「授業屋さん」ではない、君たちと一緒に戦っていく当塾専任講師たちが、対話を繰り返し、塾生たちと授業内外でがっちりとした信頼関係を築き上げていきます。

授業を担当する講師が直接自習にメスを入れることがどれだけ効果的か。西荻塾は創立以来、これをずっと貫いてきました。

自習なくして、結果は伴わず。机について、すぐに実のある学習を自分で行えるようになる。これが目標です。

# 塾の指導について

## ■ 常設自習室完備

### 受講日に関係なく利用できます

西荻塾では、常設の自習スペースを確保しています。受験生や定期試験前を中心に多くの生徒が利用しています。ピリッと張り詰めた空気感のなかで、充実した設備のもと、自習が可能です。

また、講師が授業中でない時間帯は、捕まえて質問や相談は随時可能です。なんでも聞いて欲しいと思います。

※休塾日利用については、セキュリティシステムの運用上、事前手続をお願いしています（高２秋以降）。

## ■ 自習指導の特徴（授業外）

### 質問・相談いつでも可能です

西荻塾では、自習指導に力を入れています。クラス授業、個別授業を問わず、すべての受講生は、しっかりとした自習指導を授業外の時間で受けることが可能です。

#### 1．生徒別の自習スタイルの設計

授業以外の時間帯で、お手持ちの学校教材の効果的な利用法、復習リズムの設計、時機に応じて適切な自習用問題集のご紹介や進捗確認などを随時行います。一度決定したものについても、微調整や修正が必要な場合もありますので、定期的に生徒とコミュニケーションを交わしながら進捗のチェックを行っています。

#### 2．自習用教材選定・学校配布教材活用法など

塾で配布しているもの以外に、自習のために入手しておくべき参考書や問題集などについて、適宜ご紹介を行っています。また、学校で配布される副教材や単語帳について、単に一回的な学校の定期試験や小テストに対応するのみならず、それが入試においても活かされる形で取り組むよう指示を行っています。

#### 3．模擬試験や定期試験のフィードバック指導

模擬試験の結果や定期試験の答案などは随時お持ちいただいて、フィードバック指導を行っています。具体的には、答案作成の方法や弱点のあぶり出し、日常の学習方法のチェックや修正、動機付け、志望校の選定などの進路指導まで含め、各生徒別に綿密に指導を行っています。塾で受講している科目以外についてもご相談が可能です。

## ■ 進路指導・面談

### いつでもご相談ください

西荻塾では、生徒・保護者の方の進路相談や面談を積極的に実施しています。

#### 1．生徒別進路面談

西荻塾では、自習指導の一環として生徒と積極的に面談を行っていますが、そのほかに、授業・自習室の様子や、定期試験・模試の様子などから必要があるときは機動的にお声がけをし、面談を実施しています。

日々の学習から志望校の相談、選択科目の選定など、塾で受講している科目以外のご相談にも対応しています。

#### 2．保護者面談・相談（2 者・3 者）

西荻塾では、積極的に保護者の方とコミュニケーションを取らせていただいています。普段のご様子などから、もし気になることがございましたら、メール・お電話・オンライン・対面など適宜の方法によりいつでもご相談ください。日々の学習状況や大学入試制度、学校の三者面談の事前面談、志望校の選定、入試スケジュール調整など様々なご相談に対応しています。

※全学年、定期的に、塾からメールによるご様子のご報告や、ご面談（対面・オンライン選択可）のお知らせをさせていただいております。

**西荻塾**（にしおぎじゅく）

杉並区西荻南 3-9-11　フロンティア EX ビル３階
TEL 03-3334-5415